

令和3年度

I 国 語

(9時00分～9時50分)

注 意

- 問題用紙は、6問で9ページです。
- 解答用紙は問題用紙の中にあります。
- 答えはすべて、解答用紙の所定の欄に、文、文字などで答えるものの他は、ア、イ、…などの符号で記入しなさい。

福島県磐城第一高等学校

令和三年度 I 国語

【一】 次の各問いに答えなさい。

問1 次の1～3の文の傍線部の漢字の読みがなを、それぞれひらがなで書きなさい。

- 1 二人は互角に試合をした。
- 2 自分で店を営む。
- 3 木の枝が垂れ下がる。

問2 次の1～3の文の傍線部のカタカナを、それぞれ適切な漢字に直して書きなさい。

- 1 結婚式にシヨウタイされる。
- 2 世論を反映したセイサクを立てる。
- 3 転勤のためこの地方にフニンした。

問3 次の行書で書かれた漢字を楷書で書くとき、総画数が同じ漢字を、次のア～エから一つ選び、その記号を書きなさい。

法

- ア 建    イ 桜    ウ 姉    エ 位

問4 「競技会」と同じ組み立ての熟語を、次のア～エの中から一つ選び、その記号を書きなさい。

- ア 初対面    イ 造船所    ウ 無条件    エ 衣食住

問5 次の文は、生徒から担任の先生にあてた手紙文の一部である。傍線部の「もらった」を適切な敬語に直して書きなさい。

これからも先生からもらったアドバイスを胸に刻んで、努力をしていききたいと思います。

二 次の文章を読んで、あとの問いに答えなさい。

※刻子は、親のために命を捨てんとしけるほどの、孝行なる人なり。

捨てよう

その故は、父母をい、ともに両眼をわづらひしほどに、目の薬なると

その鹿に

ために

て、鹿の乳を望めり。刻子、もとより孝なる者なれば、親の望みをか

なめて

なへたく思ひ、すなはち、鹿の皮を着て、あまたむらがりたる鹿の中へ

牧をく

まぎれ入れば、（1） 鹿人（2） これを見て、まことの鹿ぞと心得て、弓にて

まぎれこんだじころ

鹿人とは鹿いふ人

鹿ぞと心得

射んとしけり。その時、刻子、「これは、まことの鹿にはあらず、わ

射よ

れ、親の望みをかなへたく思ひ、いつはりて鹿のかたちとなれる」と、

交をうっているのです

声をあげて言ひければ、（2） 鹿人驚いて、その故を問へば、ありすがたを

（1）はたの

（2）はたの

ありのまま

語る。されば、孝行のころざし深き故に、矢をのがれて歸りたり。

（1）はたの

そもそも、人として、鹿の乳を求むればとて、いかでか得さすべきな

求めるからとて

鹿人に手に入れることのできな

れども、（3） 思ひ入りたる孝行の、思ひやられてあはれなり。

しむたが

（注）※刻子…人名。  
（三）御伽草子集による

問1 いつはり を現代仮名遣いで書きなさい。

問2 ① これを見てとあるが、「これ」とは何のことか。五字以上、十字以内で書きなさい。

問3 ② 鹿人驚いてとあるが、その理由として最も適当なものを、次のア～エの中から選び、その記号を書きなさい。

ア 鹿を射殺そうとしたところ、鹿が思いがけず人の言葉を話したから。  
イ 鹿に変装して狐をしていたところ、鹿にたやすく正体を見抜かれたから。

ウ 鹿を射ようと構えたところ、刻子が急に鹿をかばって止めに入ったから。

エ 鹿の様子を隠れて見ていたところ、そばにいた者に突然声をかけられたから。

問4 次の文は、（3） 思ひ入りたる孝行の、思ひやられてあはれなりを説明したものである。空欄A・Bに当てはまる言葉を書きなさい。

A が欲しいという、鹿の望みを刻子がかなえられなかったことは仕方がないけれども、何とかしてかなえようとしたその気持ち  
B ことだ。

## 六 作文

あなたにとって、「よいあいさつ」とはどのようなことですか。これまでの生活の中で感じたことや経験を踏まえて、一六〇字以上二二〇字以内で書きなさい。

---